



SUPPORTERS CLUB NEWS

友の会 会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

〒039-2501
青森県上北郡七戸町字荒熊内67-94
七戸町立鷹山宇一記念美術館内
鷹山宇一記念美術館友の会
TEL.0176-62-5858 FAX.0176-62-5860
e-mail.takayama-museum@town.shichinohe.aomori.jp



鷹山宇一『縹渺夢幻』1995年 116.7×116.7cm
【第80回二科展出品(1995年)】

……ミュージアムコレクションから 鷹山宇一『縹渺夢幻』……

春夏秋冬、フトした瞬間に季節の移ろいを肌で感じる時がある。それは日差しが柔らかさであったり、影の色、風の匂いであつたりと様々だが、鷹山宇一の『縹渺夢幻』に、私はここ七戸の、秋から初冬へと移行する季節の変わりめを見たように思う。

1995年9月、第80回を記念する「二科展」がおなじみの上野・東京都美術館において開催された。二科らしい200号、300号といった大きな作品が並ぶ二科会の代表作家たちの部屋の中に、鷹山の作品は小振りながらも異彩を放ち、いつものように格調高く静座していた。しかし、その作風はというとあの代名詞的な「花と蝶」ではない、新たな局面を見せていたのに大きな驚きを覚えたものである。清新な変化を遂げたその作品『縹渺夢幻』は、87才を迎えようとしている高齢の画家のものとはとても思われぬ。それは「新しい価値の創造に向かつて」との二科会趣旨を正に鷹山自らが体現しているかのようで、半世紀を二科会と共に歩んだ、さすが正真正銘の画人らしい作品であった。

海を彷彿させる緑がかった青を基調に、鷹山独特の透明感にあふれた画面は、澄み渡った秋の高い空と、ヒーンと肌を刺す、早朝のヒンヤリとしていて清浄なあの「空気」を感じさせる。

生涯の大半を東京に生きた鷹山ではあるが、ふるさとの空気は肌から体中に浸透して、画家の核心部分に確かに止まっている……それは、同じふるさとで呼吸をした者が感じ得る感覚、なのであろうか？ 私なりの思いで、この季節になると脳裏に浮かぶ、鷹山宇一の一作品である。

(宇一會 大沢 聖希子)

岩手県立美術館「華やぐ女たち エルミタージユ
美術館展 ルネサンスから新古典主義まで」
岩山漆芸美術館を訪ねて 研修旅行記

参加しなきゃ損!? 研修旅行

三沢市／大久保千鶴子

地味な毎日を送る私の一番の喜びは、絵画、それも泰西名画に浸ること。観たいとなれば、東京、大阪で開かれる展覧会に足をのぼすこともしばしば。今回幸運にも、友の会の研修会に参加させていただき、岩手県立美術館でエルミタージユを飾る美女たちを「じっくり、とじっくり」と鑑賞することができた。

美術好きの皆さんはご存知のとおり、東京で開催される美術展は大変な混雑ぶりで、1時間待ちで入館し、人々をかきわけて目指す名画に5秒程ご対面、また人に押し流されるといった状態が普通。それに比べ、ゆったりとした館内、明るめの照明で、クラナツハの妖しい美女の魅力に前を立ち去り難く、貴婦人たちの豪華なレースと、それを描写した画家の緻密な筆遣いに驚嘆し、オーストリアとロシア、二人の若き女帝のカンロクにあっけにとられ・・・などなど、心ゆくまで楽しませてもらった。



岩手県立美術館前にて

さて、当日の盛岡は気温32度。岩手県立美術館の後に行った岩山漆芸美術館は、漆器というだけあって湿

気を好み乾燥を防ぐためか、館内は冷房がなく廊下は水でびちゃびちゃで、暑さに超弱い私は朦朧となり、韓国人漆芸家全さんの熱心な説明も、申し訳ないがあまり覚えていない。ただ、漆芸美術館、建物は旧橋本美術館だが、個人の方が運営するのはなかなか大変そう。がんばっていただきたいものだ。

兎も角も、楽しい研修旅行となったのは、やはりおいしい物のおかげ! 「昼からお刺身なんて〜」と言いながらすっかり平らげ、漆芸美術館の喫茶室で飲んだ冷たい韓国柚子茶で生き返り、サービスエリアでポテトをほおぼり、無事帰宅したのであった。



岩山漆芸美術館前にて

ボランティアの皆様
ありがとうございます。

★夏休みの特別企画展「手塚治虫のふしぎな虫眼鏡展」は、大人も子どもも心から豊かになった企画展で、たくさん入館者で大賑わいとなりました。この度も友の会会員の皆様による監視ボランティアで美術館への協力がありました。お疲れ様でした。
★10月23日の仙台・宮城県立美術館等への研修旅行は20名以上の参加申込みを頂いております。

会員登録の更新と新規会員

入会お誘いお願いします

友の会平成17年度の第1回研修旅行も無事終了し、第2回目の研修旅行が10月に行われます。本年も鷹山宇一記念美術館の応援と会員の皆様方に芸術・文化に一層親しんでいただけるような企画により、地域文化の振興に寄与していく所存でございます。皆様には引き続き会員登録をお願ひ申し上げます。なお、更新手続きは、美術館窓口と郵便振替により随時行っております。

▽一般会員

会費(個人) 年度会費 3千円

▽特別会員

会費(個人・法人) 年度会費 1万円

▽賛助会員

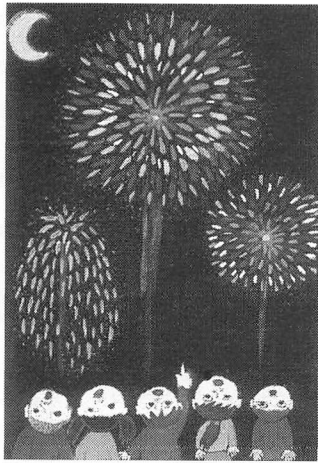
会費(個人・法人) 年度会費 2万円

※詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。



特別展のご案内

鷹山賞児童作品展、地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展ともに、早いもので本年第5回展の開催となります。鷹山賞展は、青森県南部地方の小・中学生に作品を公募、寄せられた作品から入賞入選作品を紹介いたします。また、世界児童画展は(財)日本品質保証機構、国際認証機関ネッ



▶「第5回地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展」JQA特別賞を受賞した伊賀仁美さん(東広島市)の作品。以前十和田市にお住まいの伊賀さんは、第2回鷹山賞児童作品展で小学1年生にして見事!最高賞の鷹山賞を受賞しています。

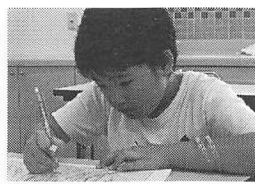
2005年11月20日(日)
→2006年1月29日(日)
■□■□【毎週月曜日定休】□■□■
第5回鷹山賞児童作品展
第5回地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展

トワークが主催して世界各国の子どもたちに地球環境をテーマに作品を募集したもので、12、597点にも及び応募作品から優秀作品に選ばれた約70点を紹介します。
毎回、発想も表現の仕方も柔軟で素直な子どもたちの作品を前に、私たち大人は思わず「ハッ」としたり、「ウーン」とうなったり、大人が忘れてかけている「何か」を気づかせてくれる、そんな子どもたちによる絵画展です。

※今展では、子どもたちのワークショップ「あ〜っと!くらぶ」で制作された木版画や、「いちようっ子くらぶ」の八戸市児童との交流ワークショップ「山海子ともサミット」で制作された絵画の展示もいたします。あわせてご観覧下さい。

子どもたちのためのワークショップ
だより
美術館いちようっ子くらぶ
美術館あ〜と!くらぶ

今回、いちようっ子くらぶからは8月23・4日のドライポイントの様子をご紹介します。

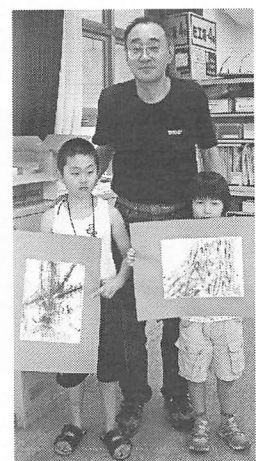


講師は七戸養護学校 教諭の東信昭先生。うだるような暑さの中、1日目は倉岡のイチヨウの木をスケッチしに出かけました。その日の午後から2日目にかけては、地道な彫りの

作業が続きます。スケッチの上に通明な塩化ビニール板をのせ、まち針の先で力加り。3日目は、七戸中学校の美術室で刷りの作業をしました。インクをつめこんだら余分なインクを拭き取り、プレス機で刷ります。みんな真っ黒になりながら、1人4枚ずつ刷って、ドライポイント作品完成です!



完成した作品は好きな色画用紙に貼って、最後に講師の東先生と記念撮影しました。



あ〜っと!くらぶからは9月10日の木版画4回目の様子をご紹介します。



講師は藤谷芳雄先生です。前回までは、縦30cm×横45cmの木版画を制作していま

したが、それも完成し、いよいよ年賀状作りに挑戦です。今までの約9分の1の大きさということもあり、子どもたちの作業の様子は職人のようです。来年の干支である戌や、お正月にふさわしい下絵を版



木に描いて彫っていきます。版が完成した後、消しゴムで自分の名前と見出しのハンコをつくって、年賀状に押しました。白黒の世界に「朱」が入ると画面がさらに引き締まります。こ



なかわいらしい年賀状が届いたら、お正月が楽しくなりそうです。

手塚治虫の

ふしぎな虫眼鏡展

からレポート!

夏休み特別企画「手塚治虫のふしぎな虫眼鏡展」(共催 青森放送株式会社)は、9月4日(日)51日間の会期を終了し、県内外から17、265人もの多くのお客様にご来館をいただきました。

手塚アニメのテーマソングが流れる館内は、夏休みのお孫さん連れのおじいちゃんおばあちゃん、小さなお子様を抱いたご夫婦やお盆の帰省中に立ち寄られたご家族など、いつもの雰囲気とはひと味違った賑やかな鷹山宇一記念美術館となりました。

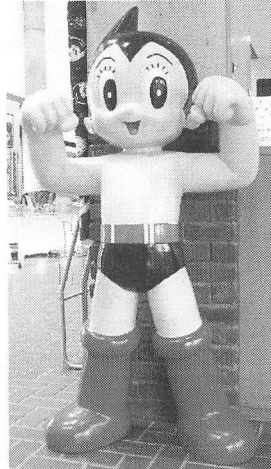
また会期中は、友の会会員の皆様をはじめ、地元七戸町の文化協会、県立七戸高等学校から、監視ボランティア活動へご協力を賜りました。この場を借りて御礼申し上げます。



▲お忙しい時間を割いて開催式へ駆けつけてくださいました(株)手塚プロダクション代表取締役・松谷孝征様。

7月15日(金)開催式 ■□□□&テープカット

▼開幕を祝いテープカットを行いました。左から当財団理事長青山浄晃、共催の青森放送(株)取締役社長・石田稔様、七戸町助役・小又勉様、青森県文化観光部文化振興課長・佐藤直樹様、(株)手塚プロダクション代表取締役・松谷孝行様、七戸町議会議長・中村正彦様、当館名誉館長・鷹山増子



▲八戸市からお越しの星秀幸様ご一家!記念品として手塚グッズから「アトムバンク」をプレゼントさせていただきました。

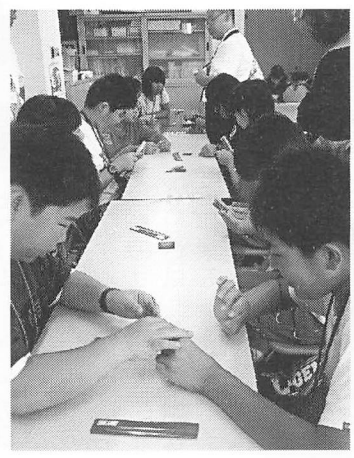
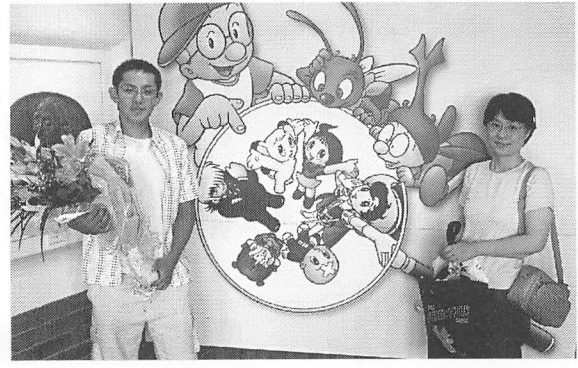
初日7月16日(土) ■□□□ 一番乗りのお客様

チケット売場にてお出迎え!アトム

◀この夏は、皆さんとの記念写真の撮影に大忙しのアトムでした。

8月18日(木) ■□□□ 手塚治虫展の入館者 1万人を突破しました!!

▶一万人目となったのは、和田市の古館知子さん、健康な親は北海道大学の学生。札幌に運を射止めました!



8月5日(金) ■□□□ 七戸町と岩手県遠野市との児童交流事業のこどもたち39名が手塚展を訪れました!

ご応募ありがとうございます!手塚展終了後の9月13日(火) ■□□□ 宝塚市立手塚治虫記念館企画展ポスター ■□□□ 大抽選会開催しました! ■□□□



▲応募総数4,428枚!!厳選なる抽選の結果、34枚のポスターそれぞれ各1名の当選者が決定!当選者には早速送付させていただきました。

▲今日の日の記念に!銀細工でキーホルダーを制作する美術館のワークショップに参加しました。素敵な思い出と共にいつまでも大切にしていね!

▶「展示室内では写真を撮らない、さわらない、携帯電話はマナーモードに、食べ物飲み物は「ピビで!」など、美術館のマナーを「レオとのお約束!」まもるかな?」と、パネルにして添えました。小さなお子様連れのお父さんお母さんが、レオの前で子どもたちにも読んで聞かせる姿も見られました。マナーの学習はもちろん、ご家族のコミュニケーションにも役買ったレオでした。



ジャンゲル大帝レオ ■□□□ 絵画室入口でお出迎え!

手塚展に寄せられた感想から 一部をご紹介します!

思っていた以上に感動しました。パネルに「少なくとも今宵の月、明日の青空は失いたくない」(だったかな?)とあり、とても心に残りました。
【八戸市・31才女性】

とてもおもしろかったです。セリフのないアニメも子どもは真剣に見てました。親子で安心して見られるのは、手塚作品だと思います。直筆も見られて良かったです。
【八戸市・6才のお子様を持つ女性】

昆虫、小動物を通して生命の大切さを子どもたちに教えることが大切と思う。夏休み中でもあるので、ひとりでも多くの子どもたちに見てもらいたいと思います。
【青森市・男性】

手塚作品に流れる小さな生き物への愛や平和を希求する心が作品から伝わってくるようです。また、鷹山館長の挨拶パネルにあった、手塚氏の小学校時代の教師の言葉も、母親のひとりとしてとても感動しました。我が子に対し「実にうまい!」と心から褒めたことがあるでしょうか? 子どもを心から励まし、力になってやることを私はしていないような気がします。この言葉に出会えただけでも、私の大きな収穫です。ありがとうございました。
【無記名】

自然と生命の尊厳という根底のテーマに、改めて純粋に「いいな」と感じました。
【弘前市・38才男性】

自分の周りには自然がたくさんあります。ですが、昆虫として人気があるもの以外はすべて「害虫」扱いにされていました。標本を見て、どんな虫もれっきとした昆虫なんだと思いました。
【むつ市・11才女の子】

毎日外で遊んでいる子どもと手塚さんが何となくダブります。
【七戸町・36才女性】

子ども3人と来ました。手塚氏の世界に時間を忘れて見ている子どもの姿に、来て良かったなと思いました。
【八戸市・33才女性】

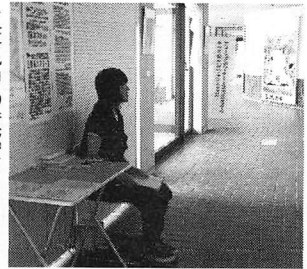
息子(7才)の話:とっても楽しかった。昆虫が図鑑ではなく本物が見られたのがすごくうれしかった。マンガのテレビもいろいろなものが見られてすごくおもしろかった:親の視点から見ても、昔自分たちがテレビで見たものの原画など、本当に楽しめました。静かだけれど多少子どもが話をしても良い雰囲気がとても好きです。小部屋がいくつかあって、次はどんな展示だろう?とわくわくできるのがよいと思います。
【弘前市・34才男性】

新たな視点で自然を見つめる機会になりました。自然と共に生きていける社会でありますように。
【青森市・33才女性】

博物館実習生からレポート!

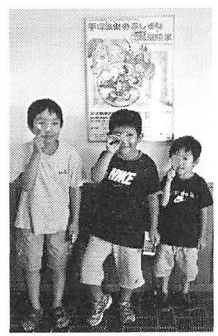
「博物館実習」とは大学における学芸員資格取得のための必修科目で、博物館や美術館で実際の仕事を体験する、というモノ。三戸町の実家から約1時間かけて通勤し、意欲的で誠実な働きぶりを見せてくれた実習生・渡部夏葉さんに感想を伺いました。

8月5日から20日まで、博物館学芸員資格のため美術館で実習をさせていただきました。私が携わったのは学芸員さんのほんの一部であったとは思いますが、特別展3部屋の監視・発送作業、パネルと手塚展みどころガイドの作成、グッズ販売などのお手伝いをしました。今回の実習で今までの来館者だった立場から、運営をしている美術館側の立場でものを見ることができたと思います。大学でも学んでいて確信していたことなのですが、改めて美術館とは教育の場であると感じました。「教育」や「教育普及」という言葉を使いますと堅苦しく聞こえてしまうのですが、人は常に学習することが可能であり、七戸町ではこの鷹山宇一記念美術館がその機会を来館者の方たちに提供しているのだと思いました。監視をしていきますと



▶監視中の渡部さん

皆さんそ
れぞれ違
った見方
をしている
のがわか
ります。
立体的な
展示物が
置かれて
いる第3室で、子どもにはオブジェ
がどのように見えるのか?これは一
人ひとりが自分のなりの感性でとら
えていたのが印象的でした。手塚先
生のアニメセル画を見て、大人が子
どもに「生きものはこうやって大き
くなるんだよ」と教える姿もありま
した。また、普段の生活の中で自然
に目を向けていたかどうかという美術
館側の思いで小学生に配布した虫眼
鏡のアイディアは、まさに本展のテ
ーマ「生きること」「生命の尊厳」に
沿っていたのではないのでしょうか。
マンガというサブカルチャーを主
軸化した手塚先生にかかわる夏休み
特別企画に参加できたことに感謝し
ています。私自身手塚マンガにさら
に興味を持つことができました。毎
日の仕事は予想通りだったこともそ
うでなかったこともありましたが、で
すが困ってしまった時指導して下さ
ったスタッフの皆さん、学芸員の太
池さん、ありがとうございます。
反省は尽きませんが、もっと気をき
かせて仕事ができれば良かったと思
っています。最後に、受け入れを許
可してくださった鷹山館長、ありが
とうございました。



◀虫眼鏡のプレゼントに子どもたちは大喜びでした!!

渡部 夏葉【都留文科大学4年生】

島田紘一彫刻展

2003年夏、当美術館主催の特別展でご紹介をさせて頂いた二科会所属の木彫作家島田紘一呂先生個展が、東京・銀座のギャラリー「Olive eye」において開催されます。東京方面へお出掛けの際には、島田先生の愛らしいネコちゃんたちには是非会ってきてください！会期は左記のとおり。

9月22日(水)～10月7日(金)
※AM11時～PM7時まで
日祝はお休みです



▲写真は個展案内ハガキから転載しました。ギャラリー「Olive eye.」は東京都中央区銀座5-3-9鈴木ビル3Fです

ごあんない

観覧参加

美術館日誌

【9月】

- ▼1日/妙水苑様デーサービスセンター14名様来館
- ▼2日/妙水苑様デーサービスセンター10名様来館
- ▼3日/妙水苑様デーサービスセンター9名様来館
- ▼8日/花輪史談会40名様来館
- ▼11日/美術館あつとくらぶ初回「木版画」①開催
- ▼12日/美術館いちようっ子くらぶ初回「イチヨウを見に行こう！」開催
- ▼14日/火曜サロンを開催
- ▼18日/友の会総会並びに友の会第6回美術講演会開催
- ▼24日/美術館主催大人のワークショップ「銀細工講座」開催
- ▼25日/美術館あつとくらぶ「銀細工講座」開催
- ▼26日/美術館いちようっ子くらぶ「銀細工講座」開催。ATV番組「ヒューマンエナジー」美術館いちようっ子くらぶ取材。
- ▼28日/五所川原高校PTA32名様来館
- ▼30日/当財団平成16年度会計監査

【7月】

- ▼1日/鷹山館長八戸市立八戸小学校において講演
- ▼2日/鷹山館長黒石市立牡丹小学校において講演
- ▼5日/手塚展準備のため臨時休館
- ▼15日(迄)/城米産業消防設備定期点検。青森市商工会議所50名様来館
- ▼6日/鷹山館長青森市へ出張。NHKサービスセンター仙台支局尾形様来館
- ▼7日/RABサービス手塚展開催

【8月】

- ▼8日/鷹山館長「新七戸町町章等選考委員会」に出席
- ▼9日/美術館あつとくらぶ「木版画」②開催
- ▼10日/手塚展特別展示資料「昆虫標本借用のため大池青森出張
- ▼12日/手塚展作品搬入。手塚プロより担当デザイナー！堀江様ほか2名作品展示のため来館(13日迄)
- ▼13日/七戸消防署による美術館重油タンク検査
- ▼14日/鷹山館長「子どもの文化会議」に出席
- ▼15日/手塚展開催式。来賓として手塚プロ代表取締役松谷孝征様ご出席。記念講演会を開催
- ▼16日/手塚治虫のふしぎな虫眼鏡展初日(9月4日迄)
- ▼19日/町立城南小学校2・4・6学年児童ご来館。町立七戸小学校2学年児童ご来館。県立七戸養護学校生徒3名様ご来館。鷹山館長NHK青森放送会議に出席
- ▼20日/町立七戸小学校1学年児童ご来館。藤崎町文化協会40名様ご来館
- ▼21日/楽しい旅の会30名様ご来館
- ▼23日/七彩会油絵教室開催
- ▼26日/美術館いちようっ子くらぶ、八戸市児童との交流ワークショップ「山海子とモサニット」海を描こうに参加。鷹山館長城南小学校においてボスターの審査
- ▼28日/美術館主催「RAB恐竜ワールド」研修旅行開催。22名参加
- ▼29日/町立天間東小学校学童保育クラブ23名様ご来館。友の会役員会開催
- ▼30日/鷹山館長県立三沢航空科学館飛行機絵はがき展「表彰式」へ出席
- ▼31日/手塚プロ担当プロデューサー

【8月】

- ▼1日/開館記念日。夜7時まで延長開館。広報無料招待券利用日。
- ▼2日/美術館いちようっ子くらぶ「ドライポイント」全3回①開催。七戸町教育振興会主催新任教員郷土学習参加者25名様ご来館
- ▼3日/当財団平成17年度第2回評議員会開催。美術館いちようっ子くらぶ「ドライポイント」②開催
- ▼4日/美術館いちようっ子くらぶ「ドライポイント」③開催。七戸町教育委員会学習講座「ふるさと」の伝統さがし七戸町の名所めぐり受講者48名様ご来館
- ▼5日/平成17年度児童交流事業に参加の遠野市少年使節団と七戸町児童39名様ご来館。七戸町天間みどり保育園園児ご来館。博物館実習生渡部夏葉さん初日(20日迄)
- ▼6日/美術館あつとくらぶ「木版画」②開催。友の会第2回研修旅行打ち合わせ
- ▼10日/七戸町道上保育所園児ご来館
- ▼11日/鷹山コレクションランブ搬入
- ▼14日/鷹山館長七戸町天間林地区成人式にて講演
- ▼18日/手塚展入館者1万人を突破
- ▼20日/七彩会油絵教室開催。友の会海外研修旅行「南仏・パリ美術紀行」打ち合わせ
- ▼25日/町立七戸小学校4学年児童ご来館
- ▼27日/七彩会油絵教室開催
- ▼28日/鷹山館長「青森県母子寡婦福祉連合会」において講演
- ▼29日/町立七戸小学校3・5学年児童ご来館
- ▼30日/町立七戸小学校6学年児童ご来館。佐藤電気による美術館電気定期点検

おすすめ美術館

川村 美奈子

平山郁夫美術館へ遠く近い美術館へ

平成9年「しまなみ海道」開通と同時に開館した美術館で、平山画伯の故郷広島県の生口島に建てられています。

建物は和風平屋建てで中に入ると木の香りが漂う落ち着いた佇まいです。玄関ホールからすぐに視聴覚ホールがあり、画伯に関する映像を小映

画館の雰囲気です。視聴覚ホールには、作品展示室も広くゆったりとしていて、たくさんある作品を季節に合わせて展示替えしています。

初代館長の平山吉雄氏は何度か来七されていますが、15年4月から画伯の実弟の平山助成氏が就任しています。助成氏はむつ市大湊海上自衛隊に勤務したことがあり、青森県からは距離的には遠い美術館ですが、青森県に住んだ事がある館長さんの美術館ということ、また、2回も七戸で平山郁夫展を開いているので、身近に感じる美術館です。

※今年9月には八戸市のさくら野で平山郁夫展が開催されます。

平山郁夫シルクロード美術館

平成15年11月に開館され、平山画伯の夫人・平山美知子氏が館長をとめています。

二棟の施設があり、本館は平成16年7月に新しく建てられ、2階は画伯の作品展示室、1階はガンダラ仏やモザイク画等シルクロードに関連した美術品が展示されています。別館ではシルクロードの美術品だけでなく染織品や民芸品も展示されています。

新しい美術館というだけでなく、JR小海線甲斐小泉駅のホームからそのまま本館エントランスホールへつながって入館出来るのがユニークな美術館です。(七戸町在住・友の会理事)

Information

平山郁夫美術館

- 開館時間/9:00~17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日/作品入替のための臨時休館日以外は無休です。
- 入館料/一般700円、高大生400円、小中生200円
※20名以上は1割引の団体割引があります。
※特別展開催中には料金に変更になります。

●交通案内

- ・広島空港-三原港 (リムジンバス約30分)
- ・山陽新幹線三原駅-三原港 (徒歩7分)

【船で】①三原港→瀬戸田港 (25分~33分)

大人片道670円・1日28往復

②尾道港→瀬戸田港 (普通船35分)

※瀬戸田港から美術館まで徒歩約10分

このほか、バス、自家用車等でもお出掛けいただけます。アクセス詳細は、下記までお問い合わせ下さい。

●お問い合わせ先=平山郁夫美術館

〒722-2413広島県豊田郡瀬戸田町沢200-2

TEL.0845-27-3800/e-mail info@hirayama-museum.or.jp

URL <http://www.hirayama-museum.or.jp/index.htm>

平山郁夫シルクロード美術館

- 開館時間/10:00~17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日/火曜日 (祝日の場合は開館)、冬季閉館
- 入館料/一般1,000円、高大生700円、小中生500円
(小学生は毎週日曜日無料)

●交通案内

【JR線(東京駅より)で】

- ①JR中央本線小淵沢駅 → JR小海線甲斐小泉駅下車すぐ
- ②JR長野新幹線佐久平駅 → JR小海線甲斐小泉駅下車すぐ

【自家用車で】

- ①中央自動車道小淵沢インターより約20分
- ②中央自動車道長坂インターより約15分

●お問い合わせ先=平山郁夫シルクロード美術館

〒408-0031山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6

Tel : 0551-32-0225

URL <http://www.silkroad-museum.jp/index.html>

さくら野八戸店へ

平山郁夫展のご案内

先般、第2回友の会研修旅行のチラシとともにご案内をさせていただいた「平山郁夫展」は、いよいよ会期も間近となりました。ご招待券、割引券付きチラシをご活用の際は、是非鑑賞いただきたく、あらためてご案内を申し上げます。

会場 ■ さくら野百貨店 八戸店6階

会期 ■ 平成17年9月29日(木)~10月10日(月・祝)

※会期中は無休

入場時間 ■ 午前10時~午後7時30分 (閉館8時)

※但し最終日10日(月・祝)は、入場午後4時30分迄(閉館5時)

入場料 ■

一般8000(700)円

大学・高校・中学生6000(500)円

小学生以下は無料

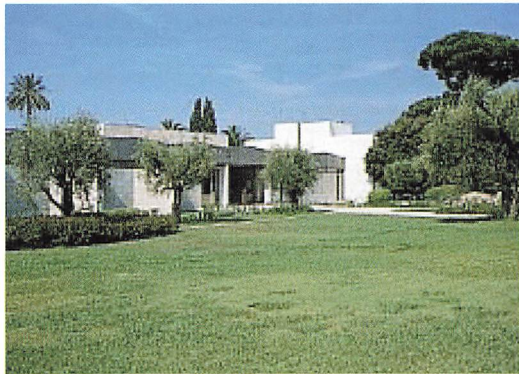
※()内はチラシ割引券料金

第3回友の会海外研修旅行2007年6月フランス美術紀行 南仏、パリ「名画の風景と印象派を訪ねて」参加者募集中



深い宗教性と無限性を秘めた画家晩年の代表作 雅歌 III

友の会海外研修旅行「南仏、パリ名画の風景と印象派を訪ねて」は、9月1日現在で20名の方々からお申込みを頂いております。第1次募集締切は、平成17年12月28日ですが、お得な旅行積立は10月下旬から順次開始しますので、お早めにお申し込み頂きたいと思っております。
今回は、フランスの「シャガール美術館」をご案内します。皆様お誘い合わせの上、一緒に「南仏・パリ美術紀行」を楽しましませう。



周囲の緑に、平屋の白い建物が映える、フランスのシャガール美術館

日程表

- 1日目** 平成19年6月2日(土)
七戸南公民館出発→八戸駅から新幹線「はやて」にて東京へ。夜、成田空港から空路パリへ [機内泊]
- 2日目** 6月3日(日)
早朝パリ到着後、乗り継ぎで空路ニースへ。ニース市内観光。シャガール美術館、マルセ美術館、旧市街など [ニース泊]
- 3日目** 6月4日(月)
午前中市内観光。大公宮殿、グランカゾ、旧市街。昼食後ニース・マルセ美術館へ。マルセの外見など [ニース・マルセ泊]
- 4日目** 6月5日(火)
マルセイユ市内観光。マルセイユ美術館、法王庁宮殿など。観光後TGVにてパリへ [パリ泊]
- 5日目** 6月6日(水)
パリ近郊バルニーにて「ピエの家と庭園」見学。パリ市内でラファエリ美術館、ピカ美術館、ポンピドゥーセンターなど見学 ※マルセイユ鑑賞予定 [パリ泊]
- 6日目** 6月7日(木)
朝食後、終日フリータイム。お楽しみツアーでお楽しみ下さい。※詳細はパンフレット参照。コース料金は1年前頃決定 [パリ泊]
- 7日目** 6月8日(金)
朝食後、空港へ。13:15発で成田空港へ [機内泊]
- 8日目** 6月9日(土)
8:50成田空港着→東京駅→新幹線「はやて」八戸駅→専用バスにて七戸へ。 までたぐ解散!

- 詳細日程は、会報第39号同封のパンフレットをご覧下さい。
- 旅行積立など詳しくは美術館にお問い合わせ下さい。
- 第1次募集締切：平成17年12月28日

シャガール美術館—ロメモ
「愛」「故郷」「聖書」を生涯のテーマとして青を基調とする独特の色彩を駆使しながら、人間に対する限らない愛と悲しみを謳い上げたマルク・シャガール。
1973年に完成した国立シャガール聖書メッセージ美術館(シャガール美術館)では、宗教を超えた人類全体への平和の祈りを込めた作品として評価されている「旧約聖書」の連作を鑑賞し、シャガールがキャンバスに込めた「祈りの心」に触れることができます。
なお、手持ちのカメラでは撮影は可能ですが、フラッシュ使用は禁止されています。

★編集後記★
暑い夏も終わりに近づき、秋の気配が漂っています。今年もあっという間に9月が過ぎ、10月がやってきます。皆様も秋の気配を感じて下さいますように。皆様も秋の気配を感じて下さいますように。